



帆船日本丸 国指定重要文化財

帆船日本丸は1930(昭和5)年に建造された、船員(船舶職員)を養成する練習帆船です。1984(昭和59)年に引退するまでの54年間に、11,500名の実習生を育てました。

この間、地球を45.4周する距離(延べ183万km)を航海しました。帆を広げた美しい姿は、「太平洋の白鳥」と呼ばれていました。

1984(昭和59)年に横浜市に誘致され、翌年から一般公開されています。ボランティアの協力ですべての帆を広げる総帆展帆を年間約12回実施するほか、青少年向けに海洋教室を開催しています。



帆船日本丸と横浜みなと博物館はみなとみらい21地区の日本丸メモリアルパークにあります。

1985(昭和60)年に造船所だった場所を横浜市が親水性に富んだ緑地にしました。

帆船日本丸が保存係留されている横浜船渠株式会社第一号ドックは、帆船日本丸とともに国指定重要文化財です。

横浜みなと博物館

横浜港をテーマにした初めての博物館です。

2009(平成21)年4月に横浜開港150周年事業で横浜マリタイムミュージアム(1989年開館)を全面リニューアルし、横浜みなと博物館が誕生しました。

「歴史と暮らしのなかの横浜港」をメインテーマに、横浜港150年の歴史と横浜港の仕組みと役割を伝える展示で構成されています。

常設展示のほか企画展や講演会、見学会、工作教室などを行っています。

2018年(平成30)年3月に「柳原良平アートミュージアム」が常設展示としてオープンしました。



入館案内

・開館時間：10:00～17:00 ※季節により変動があります。

・休館日：月曜日(祝日にあたる場合は開館し、翌日休館)、年末、その他臨時休館日

・入館料

	共通券(団体割引)	単館券(団体割引)
一般	600円(500円)	400円(350円)
65歳以上	400円(300円)	250円(200円)
小・中・高校生	300円(200円)	200円(150円)
土曜日は特別料金 100円		

※共通券は帆船日本丸と横浜みなと博物館の両方を見学できます。

※単館券は帆船日本丸または横浜みなと博物館のいずれかを見学できます。

※横浜市の「濱ともカード」をご提示いただくと、65歳以上の方は団体割引料金になります。

※団体割引料金の適用は、小学生以上の方が20名様以上の場合です。

※土曜日は、小・中・高校生は共通券が100円の特別料金になります。

この特別料金は帆船日本丸進水100周年に向けた保存活動に使用します。

※企画展等は別料金になる場合があります。

交通案内

■電車

・JR根岸線、市営地下鉄ブルーライン「桜木町」駅下車

・みなとみらい線「みなとみらい」駅・「馬車道」駅下車 各駅から徒歩5分

・「羽田空港」駅から約40分・「東京」駅から約35分・「新横浜」駅から約15分

■車

首都高速横羽線「みなとみらい出口」から約0.5km

※専用駐車場はございません。但し、ご見学の観光バス、車イスでのご来館の場合は駐車可能です。事前にご連絡下さい。

帆船日本丸記念財団・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-1-1

TEL 045-221-0280(代表・団体予約) FAX 045-221-0277

<http://www.nippon-maru.or.jp/>

2018.4

楽しい催し物がいっぱい!!



●総帆展帆
ボランティア約100名で日本丸の29枚すべての帆をひろげる姿は迫力満点です。年間約12回開催。



●吹奏楽演奏会
学生や社会人による演奏会です。



●シーカヤック教室
みなとみらいで水辺のスポーツを楽しもう!



●満船飾
船でお祝いのときに国際信号旗を掲げます。日本丸では、船首から各マストの頂を通して船尾まで綴ります。



●フリーマーケット
お目当ての物をさがしてみよう!

●親子で体験! 日本丸の帆をはろう!
日本丸の大きな1枚の帆を広げます。

●楽しい船の折り紙教室とキッズのためのクイズラリー
毎週土曜日開催中!(除外日あり)

●ペーパークラフト教室
毎週日曜日・祝日開催中!(除外日あり) 船のペーパークラフトを作ります。

※催しは、天候などにより変更や中止になる場合があります。

レストラン・カフェ

博物館内にあるレストラン。日本丸を眺めながら、オリジナルフードやドリンクをお楽しみください。

ミュージアム・ショップ

大好評の帆船日本丸チョロQや日本丸を紹介したパンフレット、またリトグラフやオリジナルフレーム切手などの柳原良平グッズもとりそろえております。

帆船日本丸チョロQ
日本丸の形がキュートなチョロQ

帆船日本丸 横浜みなと博物館

柳原良平アートミュージアム



参加しながら楽しく学べる



●工作教室、見学会
子ども向けの船の工作教室や港の見学会などを行っています。



●海洋教室
帆船の規律正しい団体生活を通じて協調性や精神力などを養います。通常は団体の受付です。季節により個人参加の海洋教室を実施しています。

●帆船日本丸ガイド
日本丸の乗船経験者を中心にしたボランティアによる船内ガイドです。

●横浜みなと博物館ガイド
市民ボランティアが博物館の展示をわかりやすく、より魅力的にご案内いたします。

ライブラリーのみのご利用について(博物館ご入館の方は無料でご利用になれます)
・開室時間・休室日：横浜みなと博物館と同じ
・入室料：100円

横浜港と海・船の資料・図書の収集にご協力下さい

・横浜港の風景、働く人、船の写真、動画、絵画、文書類
・港や船で働く人、港や船をつくる人が使う道具、衣類、図面、機械
・港湾、船舶、海運、航海などに関連する図書、雑誌、パンフレットなど

バリアフリー情報

■お身体の不自由な方へ
横浜みなと博物館：スロープやエレベーター、オストメイト対応の多目的トイレがあります。車イスや補助犬同伴のご見学が可能です。
帆船日本丸：車イスや補助犬同伴のご見学は、船の構造上、長船尾楼甲板に限らせていただきます。
■小さいお子様をお連れのお客様へ
・おもつの交換台は、博物館1F多目的トイレなどにあります。
・授乳は、博物館1F総合案内隣のスペースをお使いいただけます。
・日本丸をご見学の際、ベビーカーは入口でお預かりいたします。博物館はベビーカーでの見学が可能です。

貸出施設のご案内

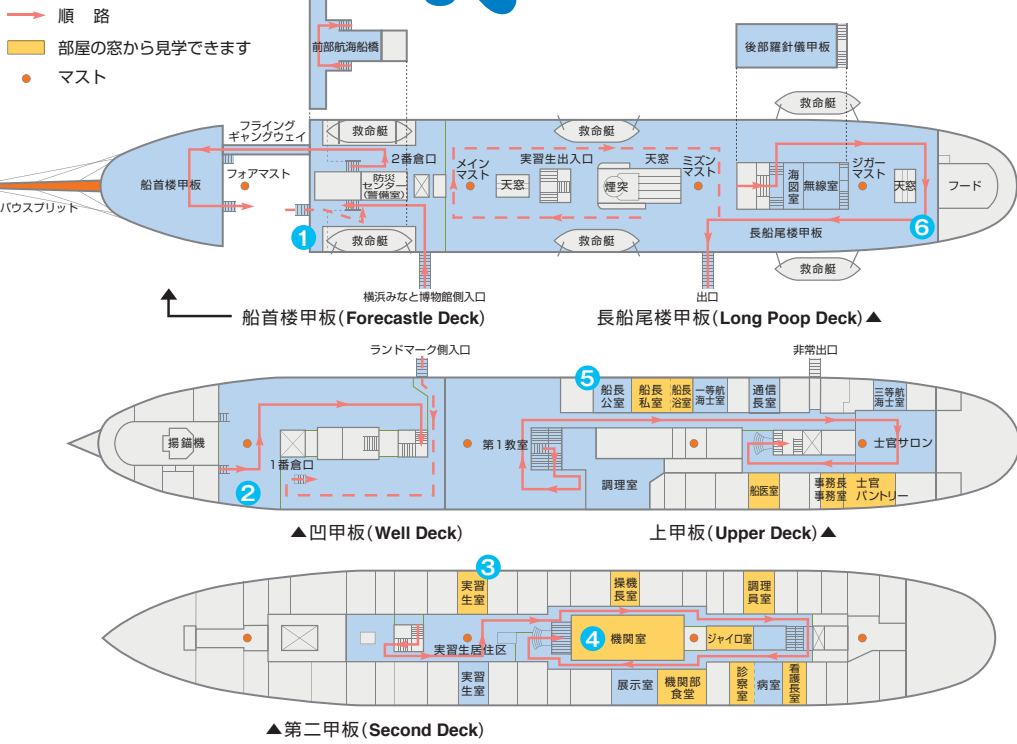
訓練センター：会議や研修でご利用いただけます。
緑地利用：パーク内のステージや広場はイベントでご利用いただけます。
撮影：パーク内を映画や広告などの撮影でご利用いただけます。
※ 有料となり事前予約が必要です。
※ 内容によりお受けできない場合があります。

帆船日本丸

Sail Training Ship NIPPON MARU



国指定重要文化財として評価された大型帆船の構造、
機装、ディーゼルエンジン等を船内で見学できます。
航海していた頃の訓練の様子や日本丸のあゆみを
写真や船用品、音声解説等で紹介しています。



船種	帆船(4櫓パーク型)	総トン数	2,278トン	平均喫水	5.3メートル
用途	練習船	全長(パウスプリット含む)	97メートル	総帆数	29枚(量1,245枚分)
定員	138名	幅	13メートル	最高マストの高さ	水面から46メートル



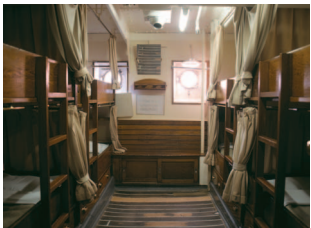
1 時鐘

練習船時代、直直に入ると最初の30分に1回、その後は30分ごとに1回ずつ増やして鳴らしました。8回鳴らす8点鐘で交代します。



2 ビレーン・ピン

帆船には帆を操作するために多くのロープ類があり、それらはすべてビレーン・ピンという棒にとめられています。



3 実習生室

1部屋8人で生活する狭い部屋ですが、実習生にとっては憩いの場所です。ベッドの大きさは、長さ185cm、幅65cm。



4 エンジン

54年間稼働した記録を持つ国産のディーゼルエンジンが2台あります。



5 船長公室

船長がお客様をもてなしたり、航海士から報告を受けたりする部屋です。



6 舵輪

帆走中は帆の状態を見ながら、舵をとるので、舵輪は船の一番後ろに置かれています。

日本丸メモリアルパーク

Nippon Maru Memorial Park



なだらかな緑地(横浜みなと博物館の屋上)があるウォータフロント。アリーナでは、コンサートやイベントを行っています。みなとみらい21地区の玄関口にあたり、汽車道で赤レンガ倉庫がある新港ふ頭に繋がっています。



1 横浜船渠株式会社エアー・コンプレッサー

1918(大正7)年 ニューマチック・ツール社(アメリカ)製 大正期に横浜船渠株式会社が造船事業に進出する際に導入。機械に動力となる圧縮空気を送りました。



2 帆船日本丸のメインマスト用トップ・ゲルンマスト

メインマストの上部のマスト。1952(昭和27)年の帆装復旧工事の時に取り付けられ、以来40年間使用されました。材質は樹齢約200年の櫓。



3 帆船日本丸のスクリュー・プロペラ

1929(昭和4)年 川崎造船所(神戸) 帆船日本丸はディーゼル機関を右舷と左舷に備えています。このプロペラは左舷機用の予備プロペラです。ご覧いただいたくない時があります。



4 横浜船渠株式会社第一号ドック

1898(明治31)年竣工 船の修繕用のドライドック(乾船渠)です。1982(昭和57)年まで数千隻の修繕に使われました。国指定重要文化財。

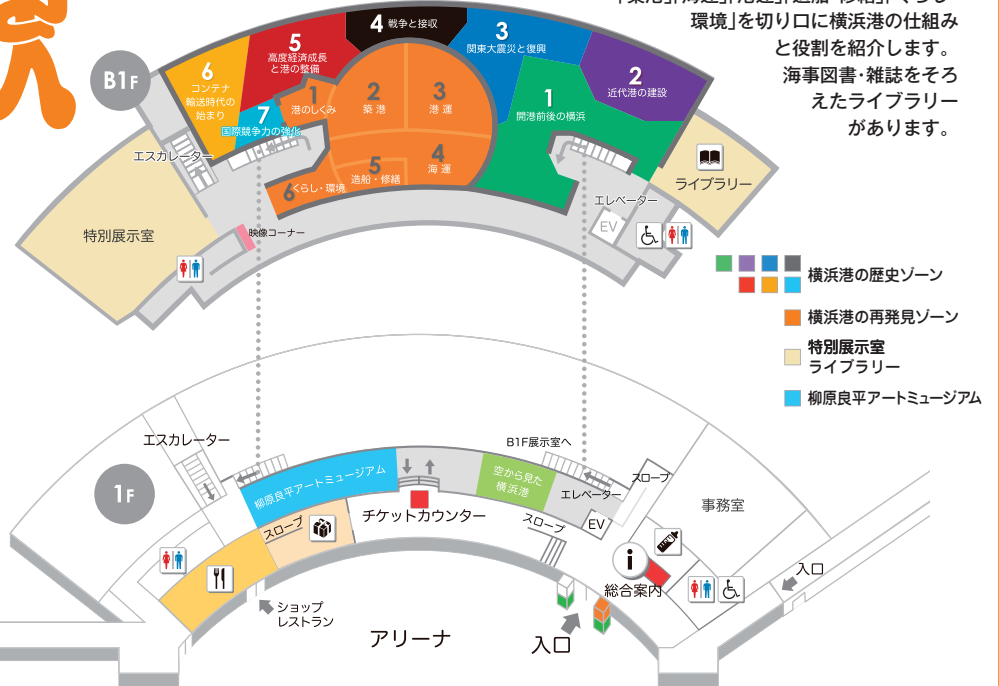
横浜みなと博物館

Yokohama Port Museum



「横浜港の歴史」ゾーンは、横浜港150年の歴史を7つの時代に分けて展示しています。神奈川湊、吉田新田、横浜村から、黒船来航、大さん橋建設、昭和戦前の客船黄金時代、コンテナ船の初入港、そして国際競争力強化を目指す現在までを紹介しています。

「横浜港の再発見」ゾーンでは、「港のしくみ」や「築港」「海運」「造船・修繕」「くらし・環境」を切り口に横浜港の仕組みと役割を紹介し、海事図書・雑誌をそろえたライブラリーがあります。



横浜港の歴史ゾーン

2 大さん橋のスクリュー・パイル

1894(明治27)年の創建時からおよそ100年間、海底から大さん橋を支えている鉄製螺旋杭。



2 大さん橋

明治30年代の大さん橋。横浜港最初の築港工事で内防波堤などととも建設されました。



3 貨客船 あるぜんな丸模型

1939(昭和14)年に南米・世界一周航路用に建造された戦前の代表的な客船。



5 原油タンカー 東京丸模型

1966(昭和41)年、高度経済成長期に横浜の造船所で建造された15万トンのマンモスタンカー。

操船シミュレーター

横浜港をリアルに再現した映像のなかで、船を操縦する本格的なシミュレーター



3 米国野球選手署名入り扇子

1934(昭和9)年に客船で来日した大リーグのペーブルス、ルー・ゲーリックらが、横浜検疫所員の扇子にサインしたもの。

横浜港の再発見ゾーン

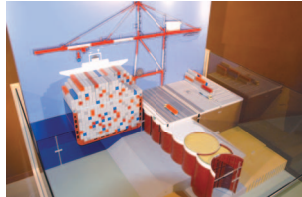
1 港のしくみ



港のすがた

画面に触れながら港のしくみを知る大型マルチタッチ映像。

2 築港



南本牧ふ頭MC-3 コンテナターミナル模型

模型で南本牧ふ頭のコンテナターミナルがどのように建設されているのかを紹介。

3 港運



コンテナへの貨物の積み込み

港で行われているパニングという作業を再現。

柳原良平アートミュージアム

Yanagihara Ryohei Art Museum

アンクルトリスの広告デザインや船の絵で知られる柳原良平の常設展示室「柳原良平アートミュージアム」が、2018(平成30)年3月に横浜みなと博物館内にオープンしました。

柳原良平のイラストレーション、グラフィックデザイン、絵本、装丁、そして油彩画やリトグラフなど、多彩な創作活動を紹介しします。



ポスター トリスを飲んで Hawaiiへ行こう! 1961(昭和36)年



アンクルトリスと柳原良平 1970年代 切絵

ポスター YOKOHAMA 1981(昭和56)年